

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)
 ■会長：福本良平 ■副会長：植村将史 幹事：高辻良成



発行日 / 2015年1月6日

2014-2015/23

Vol.36

No. 1723

hp: <http://naraomiya-rc.jp>
 E-mail: info@naraomiya-rc.jp
 2014-15年度当クラブテーマ

『ロータリアンとしての
誇りをもって』

国際ロータリー第2650地区

ガバナー 北河原 公敬

「ロータリーは心くぱり」



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

本日のお客様

- ・北河原公敬 様(RID2650 2014-2015年度 ガバナー/奈良大宮RC)
- ・今西 清悟 様(RID2650 2014-2015年度 奈良第一グループ
ガバナー補佐/奈良RC)
- ・有井 邦夫 様(RID2650 2014-2015年度 幹事長/奈良大宮RC)
- ・田中 俊介 様(RID2650 2015-2016年度 幹事長予定者/京都南RC)

会長報告

本日はガバナー公式訪問の日でございます。本来ですとこの後ガバナーアドレスを頂いて、クラブ協議会ということが普通の流れですが、今回地区の方に無理を申し上げまして、皆さんご存知のように12月の第一例会にクラブ協議会を先に開かせて頂き、本日はガバナーアドレスを頂いた後、友愛例会という形で進めて行きたいと思えます。クラブ協議会では各委員長に発表して頂き、その後今西ガバナー補佐に随時講評を頂きました。そして最後に北河原ガバナーより講評を頂きました。広報に関して県の記者クラブを利用したらいいのではないか、とか会員増強はやはり継続的に進めて行かなければだめであると、或いは同好会活動もなかなかロータリー活動には有効であると、色々良いアドバイスを頂きました。今後我々のロータリー活動に於いて、参考にさせて頂きたいと思っております。それと、本日臨時(持ち回り)理事会がございまして、入会候補者の入会手続きを進める事と、2月7日にキリン神戸工場見学に伴い、その二案につき了承を頂きました。

RID2650 2015-2016年度地区幹事長予定者：田中俊介様より一言

突然のご指名で少し戸惑っておりますけれども、今ご紹介頂きましたように、次年度2015-2016年度京都南ロータリークラブから中澤ガバナーエレクトが輩出されましたので、その幹事長を予定しております田中様でございます。有井幹事長とは同年でございましていつも冷やかされておりました、俺らの前に行くな、とか後ろから突くな、とか言われながら、今日まで参りましたけれども、今日お聞きしますと北河原ガバナーが公式訪問最終という形でHCの奈良大宮さんにお越しになられるということを聞きまして、15:30迄地区事

例会プログラム

第24回1月6日

通算1723回

1. 開会の点鐘
2. ソング
「君が代」
「大宮ロータリーソング」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 友愛例会
6. 閉会の点鐘

例会状況報告

第23回 12月16日
通算1722回

◎会員数 78名
 ◎出席規定免除者数 1+25名
 ◎出席義務者数 52名
 ◎欠席者 5名
 ◎出席者 69名
 ◎出席率 93.24%

第21回 12月2日
通算1720回の修正

◎会員数 78名
 ◎出席規定免除者数 2+25名
 ◎出席義務者数 51名
 ◎欠席者 5名
 ◎補填者 1+5名
 ◎出席者 72名
 ◎出席率 100%

務所に居った訳ですが急遽こちらに出向いてまいりました。無事に、と言いましょ、見事に公式訪問を完走されましたこと、心からお慶び申し上げましてご挨拶とさせていただきます。本日はどうも有難うございます。



委員会報告

社会奉仕委員会：中畠委員長

社会奉仕委員会と職業奉仕委員会とで協同しまして、来年の2月7日麒麟神戸工場の見学を企画しております。ビオトープの話など環境保全での麒麟ビールの取り組みについて話を頂けるとと思います。小川会員には非常にお力添え頂きまして、通常は入れないVIPルームに入れて、通常2杯までのところ小川さんの力で呑み放題と言う事になります。ただ、レストランでは有料になりますので、先にいっぱい飲んでおいてください。

幹事報告

・次回例会は、来週が天皇誕生日、それから次々週が年末になりますので、お休みとなります。次にお会い致しますのは、年明けまして1月6日（三週間後）になります。お間違えの無いようによろしくお願い致します。

・同じく年末ですが、ガバナー事務所から年末年始のお休みのご連絡がきております。例年の通りですが、年末は12月27日（土）～年が明けて1月4日（日）までガバナー事務所・エレクト事務所がお休みとなります。地区関係者もたくさんおられると思いますが、ご注意ください。奈良大宮ロータリークラブの事務所も同じくお休みですが、金曜日が定休日になっておりますので、12月26日～奈良大宮ロータリークラブの事務所はお休みになります。それまでに何かありましたらご連絡頂きます様によろしくお願い致します。

・今日も会長幹事懇談会で、ガバナーの方から、サンパウロ国際大会に沢山の皆さんお越し下さいということをおっしゃられました。地区親睦夕食会がサンパウロで開かれます。クラブで取り纏めという形になっておりますので、サンパウロに行かれる方は夕食会は国際大会と別になります。是非お申込み頂きますように、宜しくお願い致します。

ロータリー語録

「ロータリーは奉仕する団体ではなく、奉仕する人々の集まりである」

賀寿御祝



中村 信清 君（傘寿）

御結婚御祝



中畠 大 君（御子息）



皆様、改めまして今晚は。思えば結構早いもので結構時間がかかるかと思っていたのがいつの間にか12月の今日が来てしまいました。7月8日から始まった公式訪問も初めのころはいつになったら最後まで行くのかと思っていましたし、一時体調が少しおかしいかなと言う時期もございましたが、大過なく今日を迎えることができました。これも、各関係の微に入り細に入り心配りを頂き、また、それぞれのクラブさんに暖かく、フレンドリーにお迎えいただいたことも一つだと思います。さらには、公式訪問に随行していただいた役員の方々にもお礼を申し上げたいと思っております。それで最後のアドレスを行わないといけませんが、実は今日お訪ねしたやまと西和クラブさんにも申し上げたのですが、すでに本年度も約半年経っており、本当であればもっと早い時期にお話させていただければ良かったのですが、なかなか日程の都合上そういうわけにも行かず、すでに終わっているかもしれないのですが、しかし、このクラブさんにだけお話しして、こちらのクラブさんにはお話ししないという訳にもいきませんので全てのクラブさんには同じようにお話をさせていただいております。なので、こちらのクラブも自クラブだからと言って省略する訳にも行きませんし、同じようにお話をさせていただかなくてはならないと思っておりますのでしばらくお付き合いいただきたいと思います。もう一つ忘れない内に言っておかなくてはいけないことは、こちらのクラブからも本年度、地区に多くの方に委員として出向していただいております。先ほどご挨拶させていただきましたが、来年6月まで後半年ほどございますが、最後までぜひお助けを頂くということをお願いしたいと思います。それでは一応ガバナーと言う立場で参りましたので、ゲイリー C. K. ホアン会長の話と今年度の当地区の事をお話したいと思います。随行していただいている方には何度も聞いていただいて、耳にタコができるとおっしゃるかもしれませんがご辛抱していただければと思います。まずロータリーと言いますとやはりポール・ハリスになります。ポール・ハリスの話はいつも聞いていると言われるかもしれませんが、やはり少しくらいは触れておかないといけなないかと思っております。ご承知のようにポール・ハリスは弁護士をしておりまして。仲間と一緒に1905年の2月23日に第1回目の会合を開いております。それから数えますと来年は、ロータリーが出来てから、110年という節目の年になります。ポール・ハリスは、最初の例会から3年後にはそのクラブの会長をしております。最近話題になりましたが、イギリスから独立するか留まるかの投票がありましたが、スコットランドのバーミンガムというところの出身の女性を奥さんにしています。結婚をされて、お二人でもってロータリー活動をされていたようです。というのは、このポール・ハリスはたとえば地区大会あるいは国際大会などいろいろな会合には、必ずロータリーについて熱っぽく講演をしていたそうなのですが、時には、代わって奥さんがロータリーの話をして講演しておられたそうなのです。ということは二人そろってロータリーに対して非常に力を注いでおられたのだらうと思うのですが、そのことを示すようなことがあります。お二人には残念なことにお子さんがいなかったそうです。ポール・ハリスの自叙伝には、そのことについて、子供のいない私たち夫婦は国際ロータリーを養子にしましたと書いてあるのです。ということは、いかにそのお二人が極端に言えば、ロータリーに生涯を捧げておられたのかなというふうに思っても過言ではないのではないかと思います。そのロータリーが、来年が110年となるわけですが、ゲイリー C. K. ホアン会長は今年の1月、世界から集まりました、ガバナーエレクトを前に、アメリカのサンディエゴで、こう私たちに呼びかけたわけです。我々のときは537名とパートナーで1000名以上の前で何と言ったかといいますと、私たちロータリアンの仕事は世界のニュースをより良く、より明るく希望に溢れたものとするということです。そして、それらの良いニュースを生み出すだけではなく、その良いニュースを公表されるようにすることも私たちの仕事です、と言われました。さらに、私たちは皆ロータリーを誇りにしています、そして、ロータリーが世界に大きな影響を生み出せる団体であってほしいと願っております、もちろん、偉大なことは何もせずに起きるわけではありません、勤勉な努力、活発なクラブ、そして何よりもロータリーを愛するロータリアン自身があつてこそ可能となります、と我々に呼びかけました。そして、その上で今年度のテーマを「LIGHTUP ROTARYロータリーに輝きを」と我々に述べたわけです。我々エレクトは、それを聞きました時に、今までのロータリー

は輝いていなかったのかと、一瞬思ったわけです。ですが、会長はより輝きを増そうということ、この表明をされたのです。このテーマについて、会長は私たちロータリアンがどう生き、どう考え、感じ、活動するかがこの言葉に込められています、と言われました。そして、ロータリーの輝きを与えることができるのは、私たちロータリアン自身です、思いやりあえる人々がいること、より良き地域社会を築く力がある人々がいることを、私たちロータリアンが身を持って示すわけです、私たちは暗闇の中で、じっと座っているだけではだめだと声をあげ、120万人全員が力を合わせて、ロータリーをより、力強く、明々と輝かそうではありませんか、と私たちに呼びかけられました。私が1本、あなたが1本とローソクを灯すのがロータリー、そして120万人全員で力を合わせて世界を光で輝かせることができるのです、ロータリーをどう輝かせるか、ご自分のローソクをどう灯すかは、皆さん次第です、と言われました。自分が何を得意とするか、地域社会が何を必要としているか、どう支援できるかは、皆さんご自身のほうがお分かりでしょう、と続けて言われました。その上でロータリーを輝かせる方法は数多くありますが、その一つとして、ゲイリー C. K. ホアン会長はロータリーとは何か、或いはどのような活動をしているのかと言うことを地域の方々に知っていただくためにロータリーデーの開催を提唱されております。こちらのクラブでも、先ほど会長、幹事さんとお話し、すでにロータリーデーを実施していただきました。これは1回に限らず複数回やっていただいてもよいのですが、ロータリーデーとはロータリアンにとってはもちろん意義のある事そして、それに参加をしていただく方に楽しんでいただける、またロータリーを紹介する地元の団体、あるいは地域社会あるいはリーダーの方々とのつながりを深める、そしてなによりロータリーのイメージを高めるものでないなりません。目標としては、一般の方々にロータリーというものを知っていただく、つまり、ロータリーの活動、あるいは意義、また魅力、それを皆さんに知っていただく、そしてロータリー活動を理解していただく、そして関心を高めるということになります。それがひいてはロータリー入会への関心につながるのではないのでしょうか。皆さんが楽しんでいただける企画、催しが実施されれば、ロータリーデーは成功といえるでしょう。実施にあたっては、地元の団体などの協力をしていただくとも大切です。そうすれば、ロータリアン以外の方々に楽しんでいただける、あるいは参加していただける催しが企画できるのではないのでしょうか。ロータリアンだけで、企画をしていたのでは、場合によってはロータリアン以外の方々が参加したくなるような、あるいは興味を持たれそうな、そういう企画が生まれるとは限りません。しかし、ロータリアン以外の方々も一緒に参画していただくと、ロータリアン以外の方でも参加したくなるような、あるいは興味を持たれそうな、そういう企画が生まれてくるのではないのでしょうか。もちろん、このロータリーデーには会員のご家族、またはインターアクター、ローターアクター、あるいは青少年交換学生、米山奨学生等いわゆるロータリーファミリーと言われる方々に参加をしていただくことも大切だと考えます。ロータリーデーの企画内容はいろいろクラブによってお考えかと思えます。こちらのクラブさんご取り組まれた物ももちろんですが、例えば、講演会、あるいは音楽会、また一方で地域社会のニーズに合ったものなど、あるいは参加型の奉仕プロジェクト、マラソン大会、自転車レースなどいろいろ考えられると思います。いずれにしても、大小を問わずクラブ単独で開催されてもいいですし、クラブ合同で開催されてもいいです。実は先日、11月3日に日本ロータリーデーがジャパン・ロータリーデー in 愛知として開催されました。時間のあるガバナーは出てほしいとの事でしたので、私も行きました。これはワールドフードふれあいフェアという催しが開催されて非常に良かったそうです。20数店舗もの世界の食物と物産が出ます。ステージも2つほど作られて、3日間で約5万人の方が参加されたそうです。チケットを2000円で売られて、そのうち400円をカンボジアの飲料水事業に支援をされました。ゲイリー C. K. ホアン会長がロータリーデーを提唱されておりますので、今年度はロータリーデーとして、これを開催されました。昨年開催された時から、既に地域の団体、企業あるいはマスコミ、そういうところと共同でこれをされておりましたので、今回ももちろんそういう取り組みになるのですが、この3日間の名古屋の地区のロータリーデーの話が聞かれた、日本から出ておられる北清治 R I 理事が、3日目を是非、日本ロータリーデーとして位置づけしてほしいと申し入れがありました。それで3日目だけは日本ロータリーデーということになったわけでございます。実はロータリーデーはもう1日、来年の2月4日にあります。時間があれば出席していただきたいのですが、お台場でジャパン・ロータリーデー2 in 東京と言うことで予定されておりゲイリー C. K. ホアン会長も出席されます。いずれにしても、このロータリーデーというのは、ロータリーの組織や活動を紹介して、ロータリアン以外の方々に参加していただく機会を提供する場となります。そして、最終的にはロータリアン以外の方々にロータリーを紹介することになりますので、ロータリーを聞いたことがない方、あるいはよく知らない方にも認識していただく機会となります。そして、何よりも会員勧誘の効果をもたらすものではないのでしょうか。さて、当地区は今年度スローガンとして「ロータリーは心くばり」とさせていただいております。「謙虚」「誠実」「精励」をモットーに、品位あるロータリーを目指そうということで、お願いしております。私たちロータリアンはどんな奉仕であっても相手、他者に対して、心くばりを忘れてはならないと思います。相手に対して、思いをいたすことが大切であろうと思います。そして、奉仕活動が相手の望んでいるもの、あるいは相手の方の必要としているもの、そして相手の方のニーズに合致しているものでなければならないと思います。私たちが良かれと思う奉仕活動であっても、相手の方が望んでいるものとかかけ離れていたのでは、真の奉仕とはならないのです。

そう意味でも相手、他者の思いや立場を慮る心くばりが必要ではないでしょうか。一方で、奉仕活動は謙虚、誠実、精励でなくてはなりません。私たちはいろんな活動をしておりますが、決してそういう思いや態度でないにも拘わらず、相手の方に往々にしてお仕着せとされているようなことはないでしょうか。こちらの思いとは逆に、奉仕してやっているという姿勢に思われたりはしていないでしょうか。どんな奉仕活動であっても私たちは、あくまで奉仕をさせていただいているという心持、姿勢でないといけないと思います。過日亡くなられた本田パストガバナーが、ガバナー時代にロータリアンは謙虚でないといけないとおっしゃっておりました。私はよく憶えております。今年1月のアメリカのサンディエゴでの元R I 会長のお話の中に、ロータリーは謙虚という言葉が出てまいります。これは、同時通訳ということもあって、謙虚と訳したのかもわかりませんが、実は外国の方からその言葉を聞くとはいっておりませんでした。しかし、私はその言葉を聞いて、意を強くした次第です。そういう意味で謙虚というのは大切にしたいという思いです。そして、誠実さ、真心を込めて奉仕をさせていただくということが大切です。それはおざなりではなく、誠心誠意、精励に活動しなければならないということです。そういう態度でいれば私たちの気持ちも相手の方に伝わるのではないのでしょうか？いい加減な態度や姿勢での奉仕は、相手の方にとってはありがた迷惑となるのではないのでしょうか。私たちは自分一人で生きているわけではございません。ご承知のように、世間や周りの皆様のおかげで生かされているということを念頭に置いて、ロータリーは心くばりを忘れずに、思いやりの心で奉仕活動を実践しようではありませんか。こちらのクラブさんにおかれましては、各種活動を計画または実施していただいていると思います。地区といたしましても、先程のロータリーデーの開催あるいは会員増強またロータリーモーメントの活用そして各種プログラムへの寄付の推進をお願いしております。会員増強におきましては純増5%と申しておりますが、実は国際ロータリーにおきましてもこの会員増強は喫緊の課題となっております。ご存知の通り田中作次元R I 会長、ロン d. バートン前会長お二人とも130万人を目標にしてこられたのですが、残念ながら130万人どころか減少しております。ゲイリー C. K. ホアン会長も来年の6月までには130万人をと言われているのですが、今年1月に参りました時に、まずは120万人をクリアして130万人と言うニュアンスでした。事実この6月で世界のロータリアンは121万3千人あまりです。ですので、130万人には後、約9万人を増強しないと到達できません。いずれにしても、サンディエゴに行ったときに話では会員増強が非常に厳しいクラブ、たとえば退会が多いクラブは会員増強の妨げになっている要因とか、退会の多い理由とか、そういうものについて問題点をつきとめて検討していただいて、最終的には最善の解決策を見出していかなければならないわけです。そういう場合は、今までとは違った方策を採り入れるということも、必要になろうと思います。アメリカで聞いた話では、たとえば平日の例会では中々会員が集まらないが、例会を土曜日に変更すれば会員増強にもつながったし、出席率も良くなったと言う事です。一方で例会の時間を変更したクラブもあります。また、お茶だけの例会をしているクラブもあります。変わったところでは食事持ち寄りの例会をしているところもあります。それらは、つまり年会費を安く済ませることにつながります。現に今東京でもお茶だけのクラブもあり、お茶の時間帯に例会をされています。つまり経費が安く済みます。また若い女性が入り易いようにお子様連れでの例会参加もできるクラブもあります。アメリカで実際にお会いした女性の方は5歳の男の子を連れて例会に参加されており、例会中、お子様は本を読んだりされているそうです。そしてその女性会員が100%皆出席の表彰を受けたときはお子様も一緒に表彰されたそうです。いずれにしても会員増強の中では様々なことを考える必要があると思います。また次に、ロータリーモーメントの活用ということを申しております。これは皆さんロータリアンになられたら、一つや二つは心に残るロータリーの体験がおありだと思います。例えば入会された時のこと、ロータリアンになって素晴らしい友人に出会えたこと、あるいはそれこそ人生の今までの経験を大きく変えるような出来事に出合ったとか、あるいは奉仕をさせていただいたら相手の方からそれこそ涙を流しながら感謝の言葉をいただいたとか、一方でユニークな体験、楽しい体験というのもおありかもしれません。そういう体験を伝えていただきたい。この心に残るロータリーの体験を一般の方々に知っていただきたいのです。それをご覧になった方がロータリーにかかわりを持ってみようとするきっかけになるかもしれません。そういう意味でロータリーモーメントの活用も会員増強に効果をもたらすのではないのでしょうか？次に、各種プログラムの寄付についてはこちらのクラブにおいてもそれぞれ取り組んでいただいておりますが私が申し上げることはございません。ですが、ただ一つ皆さんにご紹介しておきたいのは米山奨学会のことなのです。私は2540地区の地区大会に過日行ってまいりました。これは地区大会の記念公演を頼まれており、公演当日ではなく前日のR I 会長代理の歓迎晩餐会から来てほしいとのことで行ってきたのですが、このときのR I 会長代理が台湾の方で実は自分は米山奨学生の卒業生だと言われました。徳島大学で勉強しているときに米山奨学会から奨学金をいただきました。今の自分があるのは米山奨学会のおかげですと言われました。そして何度も何度も感謝の言葉を述べられました。私はその時R I 会長代理をされるほどの方が米山奨学会の奨学金をもらっていたとお聞きして非常に驚いたのですが、と、同時に米山はなんと素晴らしい非常に有益なプログラムを行っていたと感じました。今その方は台湾で中心となって米山奨学生の卒業生を集めて独自に学友会を結成し、自分たちでお金を出して、今では日本から3名の留学生を受け入れて奨学金を出していると言われました。もう一つ希望の風奨学金にもご支援を頂いておりますが、これはロータリーの友の8月号と10月号に詳しく載っております。

ます。これは震災で両親を亡くした、あるいは片親を亡くした遺児とか孤児、そういう子供たちが今なお復興が困難な中、何としても学校へ行って勉強したい、そういう子供たちのために、ロータリーが1ヶ月に5万円ずつ奨学金を支援しようというプログラムです。ちょうど震災の時は0歳、赤ちゃんだった子が卒業するのが2032年までかかります。しかし、寄付はもう既にかなり集まっておりますので、あと4億1千万円集まれば、その子供たち全ての面倒が見られることになっております。我々がその子供たちが卒業するまで、心を寄り添えて、あるいは背中を押してあげる、ロータリーとしては本当に素晴らしい事業でプログラムであります。特に青少年に力を入れているロータリーとしましては将来その子供たちがロータリーとかかわりを持つていただければなお良いと考えております。時間が来ましたので全てをお話しすることもできませんでしたが、こちらのクラブでの今年度のプログラムが全て実のある成果をあげられてゲイリー C. K. ホアン会長がおっしゃっております文字通り輝ける奈良大宮クラブの1年となることを祈念し期待しております。それがひいては当地区が輝ける1年ということにもなります。是非そういう意味での素晴らしい年度となりますことをお祈り申し上げてアドレスとさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

友愛例会





三三三三箱

本日計 199,000円 累計 1,513,000円

- | | | |
|--------|-----------------|--------------------------|
| 北河原公敬様 | (国際ロータリー第2650地区 | ガバナー) |
| 今西清悟様 | (国際ロータリー第2650地区 | ガバナー補佐) |
| 有井邦夫様 | (国際ロータリー第2650地区 | 幹事長) |
| 田中俊介様 | (国際ロータリー第2650地区 | 2015-2016年度幹事長予定者/京都南RC) |
- 北河原ガバナー・有井幹事長始め奈良大宮RCの皆さん、公式訪問見事達成誠におめでとうございます。
- 福本良平 君 北河原ガバナー 97クラブの公式訪問お疲れ様でした。本日は、最後のガバナーアドレスよろしくお願い致します。会員の皆様 本年はいろいろとお世話になりました。来年もよろしくお願い致します。
- 高辻良成 君 北河原ガバナー、今西ガバナー補佐、本日は、足元の悪い中、ようこそお越しいただきました。本日はよろしくお願い致します。
- 松岡弘樹 君 長らく心配とご迷惑をおかけしておりましたが、順調に回復し、病理検査結果も異状なしで、何とか年末の最終例会に出席することが出来ました。皆さんに感謝申し上げますとともに、あらためて健康の大切さを再認識いたしました。ありがとうございます！！
- 有井邦夫 君 公式訪問も無事に終える事が出来ました。メンバーの皆様に心より感謝致します。ロータリアンの皆様の友情にお礼申し上げます。
- 麴谷 漣 君 北河原ガバナー、地区内全クラブの訪問、ご苦労様でした。有井幹事長・副幹事長の皆様お疲れ様でした。
- 藤井正勝 君 北河原ガバナー、いよいよ最終の公式訪問です。おつかれさまでした。当年度会長はじめ理事の皆様、ありがとうございました。
- 中井一男 君 北河原ガバナー様 あらためましての御訪問ありがとうございます。御座います。
- 平野貞治 君 北河原ガバナー、幹事の皆様長期にわたる公式訪問、ほんとにご苦労様でした。最後の公式訪問を元気にお迎えいただけた事を心よりお喜び申し上げます。
- 飯田二昭 君 ガバナー公式訪問無事終了され、お慶び申し上げます。今年1年お世話になり有難うございました。来年もよろしくお願い申し上げます。
- 中條章夫 君 本日でガバナー公式訪問の最終日です。北河原さん本当にご苦労様です。
- 小池恭弘 君 北河原ガバナー公式訪問御苦労様です。
- 小西敏文 君 北河原ガバナー本年度最後の公式訪問ありがとうございます。
- 橋本和典 君 北河原ガバナー長期にわたる公式訪問お疲れ様でした。来年6月のサンパウロ国際大会が楽しみです。沢山奈良大宮ロータリークラブから参加してもらえると信じています。PS サンパウロ国際大会参加旅行案内は今月号のロータリーの友に掲載されています。

植村将史	君	北河原ガバナー 今西ガバナー補佐 本日はご訪問ありがとうございます。宜しく願い申し上げます。
土谷宗一	君	ガバナー訪問に
成田 積	君	北河原公敬ガバナー公式訪問を歓迎して 上半期お世話になり有難うございました。
藤川保雄	君	ようこそ北河原ガバナー ご指導よろしく。
北神徳明	君	あわただしい年末結果は出ませんでした但又来年から新たな気持ちでがんばらさせていただきます。
多田 実	君	北河原ガバナー公式訪問ありがとうございます。御苦労様です。
楠原忠夫	君	北河原ガバナー 本日はありがとうございます。また、野崎さん先日はお世話になりありがとうございます。
潮田悦男	君	北河原ガバナーようこそ。御苦労さまです。
中 篤 大	君	北河原ガバナーお疲れ様でした。結婚記念日のお花ありがとうございます。
山口尚紀	君	北河原ガバナー様 公式訪問ありがとうございます。
清岡義教	君	北河原ガバナー 祝して
富川 悟	君	北河原ガバナー 地区全クラブ 公式訪問 無事終了 大変ご苦労さまでした。本年最終例会、新年もよろしくお願いいたします。
楠木重樹	君	本年も皆様にお世話になりました。来年もよろしくお願い致します。
山本直明	君	本年もお世話になりありがとうございます。
渡辺英孝	君	本年もお世話になり ありがとうございます。
森下泰行	君	一年間ありがとうございます。来年もよろしくお願いいたします。
荒木政信	君	今年1年お世話になりました。皆さま、良いお年を！
野末勝宏	君	本年5月に入会させて頂き、あつという間の7ヶ月でした。来年もよろしくお願い致します。
中奥雅巳	君	家族親睦例会 どうもありがとうございました。
矢追家麻呂	君	ニコニコ協力
井上正行	君	ニコニコ協力
石野捨雄	君	ニコニコに協力します。
植倉一正	君	ニコニコ協力
谷川千代則	君	ニコニコ協力
野崎隆男	君	ニコニコ協力
武中洋勝	君	ニコニコ協力
平方貴之	君	ニコニコ協力
市田富久夫	君	ニコニコ協力
鈴木 譲	君	ニコニコ協力
鈴木浩之	君	ニコニコ協力
森山斗福	君	ニコニコ協力
弓場裕史	君	ニコニコ協力

例会変更のお知らせ

1 月

■京都山城ロータリークラブ■

・ 1月28日（水）・・・創立25周年記念
「ロータリーミュージックコンサート」
の為、1月31日（土）に変更。

場所：京都府立けいはんなホール メインホール

※ビジター受付：1月28日（水）12：00-12：30まで、けいはんな
ホール1Fにて行います。

次週の例会

平成27年1月13日（火）

後期活動方針